

中建日報

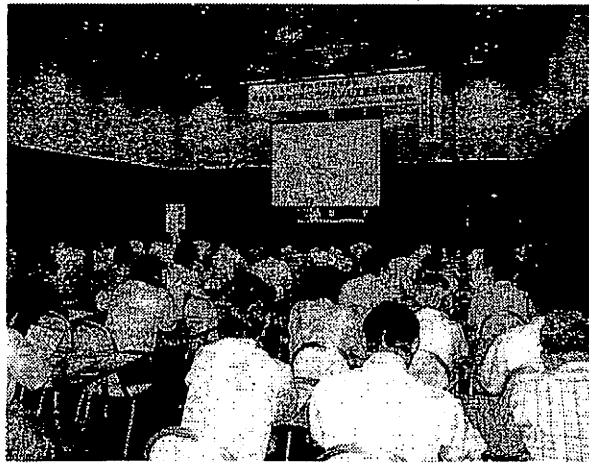
発行所
中建日報社
広島市中区十日市町2丁目1番8号
TEL (082) 297-7111(代)
FAX (082) 297-7112
<http://chukun-news.com/>
E-mail: chukun@ccv.ne.jp
購読料 1ヶ月 8,700円
© 中建日報社 2007

130人が参加し受講

広島市で工法技術講習

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(東京都中央区、原裕理事長)は19日、広島市中区メルパルク広島で中国地方整備局企画部技術調整管理官の小椋義弘氏を招き、特別講演など平成19年度(第11回)「ミラクルソル工法」技術講習会(CPDS認定講習会)を開催、官公庁、コンサルタント、建設業者など130人余りが参加した。後援は廃棄物協会。同協会は、ガラス廃棄物の再資源化を目的に、



技術講習会のもよう

板ガラスや空きビン、自動車ガラス廃材等を原料として開発した新素材「ミラクルソル・ゼオライト」ミラクルソルを建設分野に有効利用するため、新技術・新工法として提案し、すでに活用している。このミラクルソルは、多孔質間隙構造を有する新素材であるため、軽量かつ強固な特性を持つ。製造条件により0.3~1.5の比重と吸水・非吸水が調整可能である。

「ミラクルソルのクラスタ構想」として、水性のものは、岩盤を含めた斜面緑化、屋上・屋外庭園などの保水材と水質浄化のろ過材として、非吸水性のものは、軽量盛土材・軽量コンクリート二次製品の骨材・軽量コンクリート吹付工・地盤改良材・雑草防止材などに利用できる。また、経済性と安全性を含めた合理的な設計施工が可能。同協会では、競争力のある工法としてミラクルソル工法の普及を展開することにより、環境の保護、保全、創出へとつなげていく。

講習会では、原理事長が開会挨拶に立ち「当協会は、ガラス廃材を原料として開発した新素材ミラクルソルを、建設発生木材や間伐材を再利用した環境緑化工法、環境土木工法、水環境工法として建設分野に有効利用するため、新技術・新工法として提案し、各種工法をすでに活用している。全国30社余りの小さな協会だが、真面目にやっている。9年間で11回の技術講習会を開催し、今回

続いて、小椋管理官が「公共事業に関する最近の話題」をテーマに、公共工事品質確保の取り組みについて、総合評価方式の方針についてなどの講演を行い、参加者も真剣に耳を傾けていた。

このあと、工学博士である原理事長が「ガラス廃材を再資源化したミラクルソルのクラスタ構想」―環境緑化・環境土木への有効利用―をテーマに、協会の流れ、工法開発の背景・目的、施工事例、各工法の特徴などを主に写真を使って説明した。続いて、同協会顧問で工学博士・佐賀大学低平地研究センター荒木宏之教授が「総合水質管理における発泡廃ガラスミラクルソルの意義」をテーマに講演、総合水質管理の必要性、基本的概念などを解説し、ミラクルソルの位置づけ、客観的評価を語った。